

教科	算数	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
なかよしあつまれ どこがちがうかな なかまをつくろう たりるかな どちらがおおい かずをくらべよう	5	<p>○身のまわりの数量に対する関心を持ち、ある観点に応じてものの集合を捉えることができる。</p> <p>○身のまわりの数量に対する関心を持ち、ある観点に応じてものの集合を捉えることができる。</p> <p>○ものともを対応させて、個数を比べることができる。</p> <p>○ものをおはじきに置きかえて対応させて、個数を比べることができる。</p> <p>○身のまわりの数量に対する関心を持ち、ものの個数を比べたり、ものの集合を捉えたりすることができる。</p>	<p>○いろいろな集合を見つけたり、左右などの言葉を正しく用いたりすることができる。</p> <p>○種類や位置、動作などの違いを観点に加える場合と加えない場合など、いろいろな集合を作ることができる。</p> <p>○ものともを対応させることによって、ものの個数を比べることができる。</p>	<p>○動植物の種類や位置、動作などの観点から仲間作りを考えている。</p> <p>○身のまわりのものについて、1対1対応させて個数を比べたり、観点を決めて集合として捉えたりしている。</p>	<p>○数や形に親しみ、算数の学習に進んで関わろうとしている。</p>

<p>1 いくつかな かずのならばかた 0というかず ことばであそぼう がっこうたんけんにいこう</p>	<p>8</p>	<p>○1～5の数の意味、数え方、よみ方を理解する。 ○1～5の数の数え方、よみ方、書き方を理解し、習熟する。 ○6～10の数の意味、数え方、よみ方を理解する。 ○10までの数の順序、大小、系列を理解する。 ○0の意味、よみ方、書き方を理解する。 ○文字を使った言葉遊びをとおして、数についての感覚を養い、加法の素地となる見方を培う。 ○身のまわりにあるものの数に関心を持ち、10以下の数のものを探することができる。</p>	<p>○1～5の数の意味、数え方、よみ方を理解している。 ○1～5の数の大きさを理解し、数えたりよんだり書いたりすることができる。 ○6～10の数の意味、数え方、よみ方を理解している。 ○6～10の数の大きさを理解し、数えたりよんだり書いたりすることができる。 ○10までの数の順序、大小、系列を理解している。 ○無の0の意味、数え方、よみ方、書き方を理解している。 ○指定の文字数の言葉を見ついたり、組み合わせて作ったりすることができる。 ○身のまわりから10以下の数のものを探したり、数を用いて表したりすることができる。</p>	<p>○数の大きさを、ブロックや絵などを用いて表している。</p>	<p>○ものの個数を数を用いて表すことよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。</p>
<p>2 なんばんめ えあわせゲームをしよう</p>	<p>4</p>	<p>○順序数と集合数の意味を理解する。 ○前後、左右、上下などの言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。 ○11、12のよみ方や順序を理解する。 ○順序数と集合数を正しく用いることができる。</p>	<p>○集合数と順序数の意味の違いを理解している。 ○前後、左右、上下などの言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。 ○11、12の数の意味、数え方、よみ方を理解している。 ○前後、左右、上下などの言葉を用いて、ものの順番や位置を表すことができる。</p>	<p>○「いくつ」を表す集合数と、「何番め」を表す順序数との違いを、具体物や図などを用いて考えている。</p>	<p>○個数や順番及びものの位置を言葉や数を用いて表すことよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。</p>
<p>3 いまなんじ はりをあわせよう</p>	<p>1</p>	<p>○「何時」「何時半」の時刻のよみ方を理解する。 ○「何時」「何時半」の時刻のよみ方に習熟する。</p>	<p>○時計の長針、短針の役割を理解し、時刻（何時、何時半）をよむことができる。</p>	<p>○時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。</p>	<p>○時刻を用いることで日常生活の行動に生かせるというよさに気づき、日常生活の中で時刻を用いようとしている。</p>

<p>4 いくつといくつ 10であそぼう</p>	<p>7</p>	<p>○5を合成・分解することができる。 ○6を合成・分解することができる。 ○7を合成・分解することができる。 ○8を合成・分解することができる。 ○9を合成・分解することができる。</p>	<p>○5,6,7,8,9,10を合成・分解することができる。 ○10の合成・分解に習熟している。</p>	<p>○・ある数がいくつといくつでできたり、いくつといくつに分けられたりするかを、具体物や図などを用いて考えている。 ○10を分解した数の並び方を見て、1ずつ増減しているきまりに着目している。</p>	<p>○具体物や図などを用いて数を表し、ある数を合成・分解することに主体的に取り組もうとしている。</p>
<p>5. ぜんぶでいくつ ふえるといくつ あわせていくつ けいさんれんしゅうをしよう たしざんをつくろう</p>	<p>9</p>	<p>○加法の意味（増加）、加法の式について理解する。 ○和が5以下の加法の計算ができる。 ○加法の意味（合併）を理解する。 ○増加や合併の加法の場面を言葉やブロック、図で表現し、加法の意味について理解を深める。 ○異種の量の加法の意味を理解する。また、和が10以下の加法の計算ができる。 ○0の加法の意味を理解する。 ○和が10以下の加法の計算に習熟する。 ○同じ答えの加法の式を順序よく並べて、被加数や加数の変化のきまりに着目することができる。 ○10以下の数を、加法の式で表すことができる。</p>	<p>○場面絵を見て、「だんごが1個あります。2個作りました。全部で3個になりました。」というお話を作る。 ○初めに3匹いて、2匹増えると5匹になる場面を表すことをとおして、加法（増加）の意味と式、「たしざん」の意味を知る。 ○増加の場面の文章題を解く。 ○和が5以下の加法の計算練習をする。 ○5匹と3匹を合わせると8匹になる場面を表すことをとおして、加法（合併）の意味を知る。 ○合併の場面の文章題を解く。 ○$4+2=6$の式をもとに、増加や合併の問題場面を考え、それぞれ言葉やブロック、図で表現する。 ○$6+3=9$の式になるお話を作る。</p>	<p>○加法が用いられる場合（増加）や、加法の式の表し方を理解している。 ○増加の場面の文章題を解いたり、和が5以下の加法の計算をしたりすることができる。 ○加法が用いられる場合（合併）を理解し、文章題を解くことができる。 ○加法が用いられる場合（異種の量）を理解している。また、1位数+1位数で繰り上がりのない加法の計算ができる。 ○加法が用いられる場合（異種の量）を理解している。また、1位数+1位数で繰り上がりのない加法の計算ができる。 ○1位数+1位数で繰り上がりのない加法の計算が確実にできる。 ○10以下の数を、加法の式で表すことができる。</p>	<p>○・加法の意味や式、計算のしかたについて、具体物や図などを用いて主体的に考えたり、加法の場面を身のまわりから見つけ、用いたりしようとしている。</p>

<p>6. のこりはいくつ</p>	<p>7</p>	<p>○減法の意味（求残）、減法の式について理解する。 ○10以下の数から1位数をひく減法の計算ができる。 ○減法の意味（求補）を理解する。 ○異種の量の減法の意味を理解する。また、10以下の数から1位数をひく減法の計算ができる。 ○0の減法の意味を理解する。 ○10以下の数から1位数をひく減法の計算に習熟する。 ○同じ答えの減法の式を順序よく並べて、被減数や減数の変化のきまりに着目することができる。</p>	<p>○減法が用いられる場合（求残）や、減法の式の表し方を理解している。 ○求残の場面の文章題を解いたり、差が5以下の減法の計算をしたりすることができる。 ○減法が用いられる場合（求補）を理解し、文章題を解くことができる。 ○減法が用いられる場合（異種の量）を理解している。また、1位数－1位数で繰り下がりのない減法の計算ができる。 ○0を含む減法の意味を理解している。 ○1位数－1位数で繰り下がりのない減法の計算が確実にできる。</p>	<p>○減法が用いられる場面を、ブロックなどを用いて考えたり、図に表したりしている。 ○同じ答えの減法の式の並べ方を、被減数と減数の変化のきまりに着目して工夫している。</p>	<p>○減法の意味や式、計算のしかたについて、具体物や図などを用いて主体的に考えたり、減法の場面を身のまわりから見つけ、用いたりしようとしている。</p>
<p>7. ぴったりきたり</p>	<p>1</p>	<p>○数の大小の比較及び減法の計算に習熟する。</p>	<p>○数の大小を比較したり、減法を用いたりして、数カードを使ったすごろくゲームをする。</p>	<p>○10までの数について、大小を比べたり差を求めたりすることができる。</p>	

<p>8 どれだけおおいちがいはいくつ</p>	<p>3</p>	<p>○減法の意味（求差）を理解する。 ○異種の量の減法の意味（求差）を理解する。</p>	<p>○減法が用いられる場合（求差）を理解し、文章題を解くことができる。（AはBよりいくつ多い） ○減法が用いられる場合（求差）を理解し、文章題を解くことができる。（ちがいはいくつ）</p>	<p>○・減法が用いられる場面を、ブロックなどを用いて考えたり、図に表したりしている。</p>	<p>○減法の意味や式、計算のしかたについて、具体物や図などを用いて主体的に考えたり、減法の場面を身のまわりから見つけ、用いたりしようとしている。</p>
<p>9. さんすうなつやすみ</p>	<p>1</p>	<p>加法、減法が用いられる場面を理解し、文章題を解くことができる。</p>	<p>○・加法、減法が用いられる場面を理解し、文章題を解くことができる。</p>		

<p>10. 10よりおおきいかず 20よりおおきいかず たしざんとひきざん かずをさがそう</p>	<p>10</p>	<p>○20までの数の数え方、よみ方、表し方を理解する。 ○数のまとまりに着目しながら、20までの数を数えることができる。 ○20までの数を合成・分解することができる。 ○20までの数を数直線上に表し、数の順序、系列を理解する。 ○20までの数の大小を理解する。 ○20台、30台の数の数え方、よみ方、表し方を理解する。 ○十＋1位数の加法と、その逆の減法の計算のしかたを理解する。</p>	<p>○20までの数について、数え方、よみ方、表し方を理解している。 ○20までの数について、2とびや5とびで数えるしかたを理解し、数えたり表したりすることができる。 ○20までの数を10といくつに合成・分解することができる。 ○20までの数について、数直線での位置、順序、系列を理解している。 ○20までの数の大小を理解し、比べることができる。 ○20台、30台の数について、数え方、よみ方、表し方を理解している。 ○十＋1位数の加法と、その逆の減法の計算ができる。 ○繰り上がり、繰り下がりのない、十何＋1位数の加法と、その逆の減法の計算ができる。 ○身のまわりから30くらいまでの数</p>	<p>○10より大きい数について、2ずつや5ずつ、10ずつなどの数のまとまりを用いて数えたり、「10とあといくつ」などの見方を用いて表し方や比べ方を考えたりしている。 ○十＋1位数及び十何＋1位数の加法と、その逆の減法の計算のしかたを、数の構成をもとにブロックなどを用いて考えている。</p>	<p>・身のまわりのものの個数を数えたり、数えたものを数字で表したり、30程度までの数を身のまわりから見つけ、その大きさを捉えたりしようとしている。</p>
<p>11. かずをせいりして</p>	<p>2</p>	<p>○ものの数を種類ごとに分類整理したり、絵や図に表したりすることができる。 ○絵や図を用いた数量の表現に関心をもち、日常生活や学習に絵グラフを活用することができる。</p>	<p>○ものの数を種類ごとに分類整理して絵や図に表したり、それらをよみ取ったりすることができる。</p>	<p>○データの個数がわかりやすくなるように表し方を工夫して、身のまわりの事象の特徴を捉えている。</p>	<p>○ものの個数を絵や図などを用いてわかりやすく表すことのよさや楽しさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。</p>

<p>12. かたちあそび たかくつもう まちをつくろう かたちをあてよう</p>	<p>5</p>	<p>○箱などの具体物を観察し、それらを使って構成する活動をとおして、立体図形の特徴や機能を理解する。 ○箱などの具体物を観察し、それらの形の特徴を捉えて分類することができる。 ○箱などの具体物の面の形の特徴を捉え、それらを使って形を構成することができる。 ○立体図形の特徴を捉え、表現することができる。</p>	<p>○身のまわりにあるものの形について、形の特徴や機能的な特徴を理解し、箱などを用いて具体物の形を作ったり、作った形から逆に具体物を想像したりすることができる。 ○身のまわりにあるものの形の特徴を捉えて分類することができる。 ○箱などの具体物の面の形の特徴を捉え、しかく、さんかく、まるなどを見つけ、それらを使って形を構成することができる。 ○身のまわりにあるものの形について、平ら、丸い、かどがあるなどの形の特徴を理解している。</p>	<p>○身のまわりにあるものの形について、色や大きさ、位置や材質などに関係なく形を認め、形の特徴を捉えたり、形の構成について考えたりしている。</p>	<p>○身のまわりにあるものの形に関心を持ち、観察したり構成したり分解したりすることに主体的に取り組もうとしている。</p>
<p>13. こうていでさんすう</p>	<p>10</p>	<p>○加法、減法が用いられる場面を理解し、文章題を解くことができる。</p>	<p>○校庭の場面絵をもとに、加法、減法の問題に取り組む。</p>	<p>○加法、減法が用いられる場面を理解し、文章題を解くことができる。</p>	
<p>14. 3つのかずのたしざん、ひきざん 10こをならべよう</p>	<p>4</p>	<p>○3口の数の加法になる場面を式に表し、計算ができる。 ○3口の数の減法になる場面を式に表し、計算ができる。 ○3口の数の加減混合の計算になる場面を式に表し、計算ができる。 ○10を多面的に捉えて、式に表すことができる。</p>	<p>○3口の加法が用いられる場合を理解し、式に表し、計算ができる。 ○3口の減法が用いられる場合を理解し、式に表し、計算ができる。 ○3口の加減混合の計算が用いられる場合を理解し、式に表し、計算ができる。</p>	<p>○3口の加法や減法が用いられる場面を、ブロックなどを用いて考えたり、図に表したりしている。 ○10を多面的に捉えて、ブロックの並び方を式に表したり、式をよみ取ってブロックの並び方と関連づけたりしている。</p>	<p>○3口の加法、減法の意味や式、計算のしかたについて、具体物や図などを用いて主体的に考えようとしている。</p>

<p>15. たしざん けいさんれんしゅうをしよ う</p>	<p>8</p>	<p>○3口の加法、減法の意味や式、計算のしかたについて、具体物や図などを用いて主体的に考えようとしている。 ○1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算のしかた（被加数分解）を理解する。 ○1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算ができる。 ○1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算に習熟する。 ○同じ答えの加法の式を順序よく並べて、被加数や加数の変化のきまりに着目することができる。</p>	<p>○1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算のしかた（加数分解）を理解し、計算ができる。 ○・1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算のしかた（被加数分解）を理解し、計算ができる。 ○加法が用いられる場合を理解し、1位数+1位数で繰り上がりのある加法の文章題を解くことができる。 ○1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算が確実にできる。 ○1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算が確実にできる。</p>	<p>○10のまとまりに着目し、繰り上がりのある加法の計算のしかたをブロックや図、式などを用いて考えている。 ○被加数と加数の変化のきまりに着目して、答えが同じ加法の式の見つけ方を工夫している。</p>	<p>○繰り上がりのある加法の計算のしかたについて、具体物や図などを用いて主体的に考えようとしている。</p>
--	----------	--	---	---	---

<p>16. ひきざん けいさんれんしゅうをしよ う</p>	<p>8</p>	<p>○十何－1位数で繰り下がり のある減法の計算のしかた (減加法)を理解する。 ○十何－1位数で繰り下がり のある減法の計算のしかた (減減法)を理解する。 ○十何－1位数で繰り下がり のある減法の計算ができる。 ○十何－1位数で繰り下がり のある減法の計算に習熟す る。 ○同じ答えの減法の式を順序 よく並べて、被減数や減数の 変化のきまりに着目するこ とができる。</p>	<p>○十何－1位数で繰り下がり のある減法の計算のしかた (減加法)を理解し、計算が できる。 ○十何－1位数で繰り下がり のある減法の計算のしかた (減減法)を理解し、計算が できる。 ○減法が用いられる場合を理 解し、十何－1位数で繰り下 がりのある減法の文章題を解 くことができる。 ○十何－1位数で繰り下がり のある減法の計算が確実にで きる。 ○十何－1位数で繰り下がり のある減法の計算が確実にで きる。</p>	<p>○10のまとまりに着目し、繰 り下がりのある減法の計算 のしかたをブロックや図、式な どを用いて考えている。 ○被減数と減数の変化のきま りに着目して、答えが同じ減 法の式の見つけ方を工夫して いる。</p>	<p>○繰り下がりのある減法の計 算のしかたについて、具体物 や図などを用いて主体的に考 えようとしている。</p>
<p>17. どこにあるかな</p>	<p>1</p>	<p>○方向からものの位置を表す ことができる。</p>	<p>○上下、左右、前後などの言 葉を用いて、2方向からのも のの位置を表すことができ る。</p>		

<p>16. くらべかた ながさくらべ 水のかさくらべ ひろさくらべ じんとりゲームをしよう</p>	<p>9</p>	<p>○上下、左右、前後などの言葉を用いて、2方向からのものの位置を表すことができる。 ○長さの比べ方（間接比較）を理解する。 ○長さの任意単位による測定について理解する。 ○かさの意味、比べ方（直接比較、間接比較）を理解する。 ○かさの任意単位による測定について理解する。 ○広さの意味、比べ方（直接比較）、任意単位による測定について理解する。 ○広さを任意単位で表し、比べることができる。</p>	<p>○長さの意味を理解し、長さを直接比較によって比べることができる。 ○ものの長さを間接比較によって比べることができる。 ○ものの長さについて、ある大きさを単位としてそのいくつかで数値化して比べることができる。 ○かさの意味を理解し、もののかさを直接比較、間接比較によって比べることができる。 ○もののかさについて、ある大きさを単位としてそのいくつかで数値化して比べることができる。 ○ものの広さについて、直接比較や、ある大きさを単位としてそのいくつかで数値化して比べることができる。</p>	<p>○身のまわりのものの特徴の中で、比べたい量に着目し、直接比べたり、媒介物を用いて間接的に比べたり、ある大きさを単位としてそのいくつかで数値化したりするなど、比べ方を考えている。 ○広さの大小を比べる場合に、ある大きさを単位としてそのいくつかで数値化する見方を生かしている。</p>	<p>○身のまわりにあるものの量（長さ、かさ、広さなど）に関心を持ち、量の大きさを比べることに主体的に取り組もうとしている。</p>
<p>17. さんすうでふゆじたく</p>	<p>1</p>	<p>○20までの数の順序、系列、加法、減法の計算に習熟する。</p>	<p>○20までの数の順序、系列を理解するとともに、繰り上がりのある加法及び繰り下がりのある減法の計算ができる。</p>		

<p>18. 大きなかず</p>	<p>8</p>	<p>○100未満の数の数え方、よみ方、表し方、十進位取り記数法の基礎（一の位、十の位）を理解する。 ○2位数の構成を理解する。 ○100の数え方、よみ方、書き方を理解する。 ○100までの数表を見て、数の並び方のきまりに着目することができる。 ○数直線をもとに、2位数の順序、大小、系列について理解する。 ○簡単な3位数の数え方、よみ方、表し方、順序、大小、系列を理解する。 ○十を単位としてみられる数の加法、減法の計算のしかたを理解する。 ○簡単な2位数と1位数の加法、減法の計算のしかたを理解する。</p>	<p>○一の位、十の位について知り、2位数のよみ方、表し方を理解し、書いたりよんだりすることができる。 ○2位数を10がいくつと1がいくつと捉えることをとおして、数の構成を理解している。 ○百について知り、100の数え方、よみ方、書き方を理解している。 ○100までの数について、数直線での位置、順序、大小、系列を理解している。 ○120程度までの数について、数え方、よみ方、表し方、及び数直線での位置、順序、大小、系列を理解している。 ○十を単位としてみられる数の加法、減法の計算ができる。 ○簡単な2位数と1位数の加法、減法の計算ができる。 ○2位数の構成、順序、大小、系列について理解している。</p>	<p>○2位数について、「10のまとまりがいくつと、端数がいくつ」などの見方を用いて表し方や比べ方を考えている。 ○100までの数表から、数の並び方に関するきまりを見いだしている。 ○十を単位としてみられる数の加法と減法、及び簡単な2位数と1位数の加法と減法の計算のしかたを、10のまとまりや数の構成などをもとにブロックなどを用いて考えている。</p>	<p>○身のまわりのものの個数を数えたり、数えたものを数字で表したり、120程度までの数を身のまわりから見つけ、その大きさを捉えたりしようとしている。</p>
<p>17. なんじなんふん なんじなんふんかな</p>	<p>3</p>	<p>○時計のしくみを理解し、時刻をよむことができる。 ○「何時何分」の時刻のよみ方に習熟する。</p>	<p>○時計の目盛りのしくみを理解している。 ○時刻（何時何分）をよむことができる。</p>	<p>時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。</p>	
<p>18. おなじかずずつにわけよう</p>	<p>1</p>	<p>○1つの数を多面的にみて、同じ数のまとまりとしてみたり、等分した数としてみたりして、おなじきや式で表すことができる。</p>	<p>○おなじきを同じ数ずつに整理して分けたり、それを式に表したりすることができる。</p>	<p>○1つの数を同じ数のまとまりとしてみたり、等分した数としてみたりして、多面的に捉えている。</p>	

<p>19. どんなしきになるかな じゅんばんのかずのけいさん ちがいをかんがえるけいさん かずあてゲーム</p>	<p>5</p>	<p>○順序数の加法の意味、計算のしかたを理解する。 ○順序数の減法の意味、計算のしかたを理解する。 ○求大の場面の加法の意味、計算のしかたを理解する。 ○求小の場面の減法の意味、計算のしかたを理解する。 ○求大の場面で3口の数の加法になる場合について、図や式に表すことができる。</p>	<p>○順序数の加法が用いられる場合を理解し、文章題を解くことができる。 ○順序数の減法が用いられる場合を理解し、文章題を解くことができる。 ○求大の場面で加法が用いられる場合を理解し、文章題を解くことができる。 ○求小の場面で減法が用いられる場合を理解し、文章題を解くことができる。 ○</p>	<p>○順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法が用いられる場面の式を、図に表して考えている。 ○求大の加法が用いられる場面の式を、図に表して考えている。</p>	<p>○順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法の意味や式、計算のしかたについて、具体物や図などを用いて主体的に考えようとしている。</p>
<p>20 かたちづくり</p>	<p>5</p>	<p>○ものの形の特徴を捉え、色板を使って形を構成・分解することができる。 ○ずらす、回す、裏返すなどの移動の操作によって、形を構成することができる。 ○ものの形を線で捉え、ストローを使って形を構成・分解することができる。 ○ものの形を点と線で捉え、格子点を線をつないで形を構成・分解することができる。 ○色板を使って形を構成・分解する活動をとおして、平面図形についての感覚を豊かにする。</p>	<p>○色板を組み合わせて、身のまわりにある具体物の形を作ることができる。 ○ずらす、回す、裏返すなどの操作によって、ほかの形に変えることができる。 ○ストローを使ってさんかくやしかくを作ったり、それらの形を組み合わせて、身のまわりにある具体物の形を作ったりすることができる。 ○点と点を結んでさんかくやしかくをかいたり、かいた形から具体物を想像したりすることができる。 ○色板を用いて具体物の形を構成したり、その形をさんかくやしかくに分解して捉えたりすることができる。</p>	<p>○身のまわりにある具体物の特徴を捉え、それらの形の構成のしかたを考えている。</p>	<p>○身のまわりにあるものの形に関心をもち、観察したり構成したり分解したりすることに主体的に取り組もうとしている。</p>
<p>1ねんの ふくしゅう</p>	<p>3</p>	<p>○第1学年の学習内容の問題を解決することができる。</p>	<p>○第1学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。</p>		<p>第1学年で学習した基本的な問題について、算数で学んだことのよさを感じながら取り組もうとしている。</p>